令和６年３月 28 日（木）

令和６年第１回 岸和田市貝塚市清掃施設組合議会 議員総会

＜ 会 議 概 要 ＞

岸和田市貝塚市清掃施設組合

岸和田市貝塚市清掃施設組合
令和６年 第１回 議員総会

令和６年３月 28 日(木)

≪案　　件≫

１．クリーンセンターの稼働状況報告について

≪案件(1)資料①、案件(1)資料②≫

２．基幹的設備改良工事について

≪案件(2)資料①、案件(2)資料②≫

３．本会議の録画配信について

＜　議　事　概　要　＞

開　催　日　時　：　令和６年３月 28 日（木）第１回定例会開会後

開　催　場　所　：　岸和田市貝塚市清掃施設組合　会議室１

出席議員（14 名）

１番	堺　谷　　裕	２番	樽　谷　庄　道
３番	長谷川　博　文	４番	八　野　裕　嗣
５番	前　園　隆　博	６番	食　野　雅　由
７番	岩　﨑　雅　秋	８番	岸　田　　厚
９番	倉　田　賢一郎	10 番	高比良　正　明
11 番	反　甫　　旭	12 番	友　永　　修
13 番	西　田　武　史	14 番	昼　馬　光　一

欠席議員（なし）

出　席　理　事　者

管　理　者	酒　井　　了	副管理者	永　野　耕　平
事務局長	福　村　　勲	事務局次長	上　村　昌　生
総務課長	青　木　高　志	環境技術課長	太　田　健　一

案　　件

１．クリーンセンターの稼働状況報告について

２．基幹的設備改良工事について

３．本会議の録画配信について

午前11時10分開会

○岸田　厚議長

それでは、議会に引き続きまして、ただいまから令和６年第１回議員総会を開催いたします。

それでは、本日の案件といたしまして、お手元にお配りしているとおり、「クリーンセンターの稼働状況報告について」「基幹的設備改良工事について」「本会議の録画配信について」、この３件についてを議題といたします。

それでは、第１案件の「クリーンセンターの稼働状況報告について」の説明を受けることにいたします。太田環境技術課長。

○太田健一環境技術課長

それでは、案件１のクリーンセンターの稼働状況についてご報告させていただきます。

まずは、事前にお渡ししています資料、右肩上で案件（１）資料①、資料②のご用意をお願いいたします。資料に不足はございませんでしょうか。

それでは、案件（１）資料①をご覧ください。

こちらは令和５年度の稼働状況をまとめたもので、令和５年２月末の速報値となります。内容としましては、今年度及び前年度の４月から２月までの実績、２月末合計や前年度との差を示しているものでございます。なお、説明につきましては、右側の２月末の合計の列を上から順に説明いたします。説明の中で単位がトンであるものについては、小数点以下を省略いたしますので、あらかじめご了承ください。

まず①表、搬入量、２月末合計の列をご覧ください。当クリーンセンターに搬入されたごみの総搬入量でございます。５年度が８万3,825トンに対して令和４年度が８万5,734トンで、前年度との差が1,909トンの減少となりました。

次に、右隣、家庭系ごみと事業系ごみの列をご覧ください。こちらは総搬入量２月末合計の内訳となります。家庭系ごみが1,269トン、事業系ごみが639トンと、どちらとも減少となっております。特に家庭系が減少しております。

次に、②の表、焼却設備について、搬入されたごみのうち可燃ごみの焼却量で、令和５年度が８万2,920トン、令和４年度が８万2,594トンで、325トンの増加となりました。

上下の表でごみの搬入量が減少していますが、焼却量が増加していますのは、ごみピット内に前年度の繰越しのごみが約６千トン程度あり、そのごみを焼却したために焼却量が増えております。

次に、③の表、発電設備については、３項目の電力量について示しております。まず、発電電力量については、可燃ごみの焼却により発生した熱エネルギーで発電した電力量で、令和５年度が4,428万2,690キロワットアワー、令和４年度が4,404万1,210キロワットアワーで、その差が24万1,480キロワットアワーの増加となりました。

次に、送電電力量については、組合から売り電しました電力量で、令和５年度が2,259万8,570キロワットアワー、令和４年度が2,245万4,910キロワットアワーの差で、14万3,660キロワットアワーの増加となりました。

次に、消費電力量については、当クリーンセンターで消費した総電力量で、発電量からの自家消費分と電力会社からの購入分の合計です。令和５年度が2,230万9,930キロワットアワー、令和４年度が2,247万2,310キロワットアワーで、差が16万2,380キロワットアワーの減少となりました。

次に、④の表、処分量については、３項目の搬出量について示しております。まず、埋立処分量については、主に焼却後の焼却主灰などを大阪湾フェニックスセンターへの最終処分した量で、令和５年度が１万1,229トン、令和４年度が１万922トンで、差が306トンの増加となりました。

次に、処分委託リサイクル量については、主に瓶の割れであるカレットなどのリサイクル品目の搬出量で、令和５年度が730トン、令和４年度が同じく730トンで、去年と同様となりました。

次に、有価物搬出量については、主に瓶、缶、ペットボトルなど有価物の搬出量で、令和５年度が2,010トン、令和４年度が2,070トンの差で60トンの減少となりました。

以上、まとめとしまして、令和５年度のごみの総搬入量の減少については、コロナ禍を乗り越え、企業の業況や収益などは緩やかな回復を取り戻しつつありますが、これが賃金などに十分結びつかず、内需はまだ低調なことなどにより、家庭での消費や経済活動の影響がごみ発生量に表れているのではないかと考えられます。

以上が令和５年度稼働状況の速報報告でございます。

資料②の説明をさせていただきます。

資料をかわりまして、案件（１）資料②をご覧ください。

こちらの上段の表につきましては、令和５年度における運転計画及び実績でございます。表中には、上から１号炉、２号炉、３号炉の順により、それぞれ月ごとの計画と運転の実績を対比しているものでございます。また、凡例は資料の下に示していますので、併せてご覧ください。

まず、令和５年度は、基幹的設備改良工事にて、２号炉のボイラーの過熱器などの更新を行い、安全性や性能の確認を進めながら運転を行いました。１号炉及び３号炉は、年間を通じて運転と定期整備を行ってきました。定期整備の工事の内容により、工事時期と期間は変更しております。

次に、定期点検整備については、10月に２週間にわたり、整備や検査のため全ての焼却炉を停止させる必要があることから、事前にごみピットの残量をできるだけ減らすことで、ごみの受入れ業務に支障なく運転できることになります。焼却炉の性能の維持に努めてまいりました。したがいまして、令和５年度につきましては、おおむね滞りなくごみ焼却を継続して行うことができました。

続きまして、下段の表、令和６年度の運転計画をご覧ください。

令和６年度におけるごみ焼却炉の運転計画につきましても、おおむね２炉の運転を基本とし、１炉ずつ停止させ、炉内の清掃、過熱器の点検や清掃、通風設備など手入れをしまして、保守点検を実施する計画としております。

また、毎年実施しています全炉停止時期にしかできない定期点検については、10月に約２週間の予定で全炉を停止して行う計画としております。

今後につきましても、構成市から発生します一般廃棄物を安全かつ安定的に中間処理し、住民の生活環境と公衆衛生の向上を図ってまいります。

以上です。

○岸田　厚議長

説明が終わりました。質問はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○岸田　厚議長

ないようですので、本件説明を終わります。

次に、第２案件の「基幹的設備改良工事について」の説明を受けることにいたします。太田環境技術課長。

○太田健一環境技術課長

それでは、案件２、基幹的設備改良工事の完了の報告をいたします。

まず、事前にお渡ししています資料で右肩が案件（２）資料①、資料②のご用意をお願いいたします。資料に不足はございませんでしょうか。

それでは、案件（２）資料①をご覧ください。

こちらは、基幹的設備改良工事の概要を一覧にしております。施設の延命化と長期的なライフサイクルコストを抑えることを目的として、令和元年度から令和５年度の間でクリーンセンターの基幹的設備の改良工事を行いました。

また、基幹的設備改良工事においては、工事前よりCO_2排出量を３％以上削減することで、循環型社会形成推進交付金の交付要件に該当し、交付対象となる工事費のうち３分の１が交付されます。当初は消費電力の削減により、CO_2排出量を約９％以上の目標としておりました。

それでは、事前にご配付させていただいてます資料に基づき、説明させていただきます。案件（２）資料①をご覧ください。

基幹的設備改良工事を一覧にしたもので、縦列には工事を行った設備を分類し、①から⑫まで12項目に分けております。横列については、それぞ

れの項目ごとの名称と工事内容を示しております。

工事内容につきましては、Ａ３の資料②のほうで説明させていただきます。

主な工事内容につきましては、図中の赤字の丸番号を付しております。

まず、図面左側中ほど①炉出口レーザーO_2計設置については、排ガス中における酸素濃度をより減らすことによって排ガス量を削減します。その下、②耐火物更新については、温度上昇に応じた耐火物の更新を行いました。右斜め上にあります③第３過熱器更新については、主に発電に必要な蒸気を発生させる部分で、蒸気温度の変更に対応するために更新を行いました。

図面右側、中ほどにあります④ＳＧＨ蒸気調節弁は、調節弁の追加設置により蒸気の使用量の抑制を行います。

図面左側下のほうにあります⑤Ｎｏ．１焼却主灰移送コンベヤの更新、⑦Ｎｏ．１局所集じんファンの更新、図面右側下のほうにあります⑥焼却飛灰バイパスコンベヤの更新、その右上にあります⑧雑用空気圧縮機の更新、その上、⑫計装用空気圧縮機の更新、これらにつきましては、消費電力の削減を目的として高効率電動機を採用しました。

図面中央と右側中央にあります２か所の⑪の分析計の更新についても、節電を目的とした機器に更新を行いました。右下のほうにあります⑨コントロールセンターの改造は、機器の更新に対応した改造を行いました。その上、⑩中央制御システムの更新については、焼却棟とリサイクルプラザ棟の中央制御システムを基幹的設備改良工事全般に対応する機能を有するシステムに更新を行いました。本年２月末には工事の竣工検査を行っております。

なお、CO_2削減効果につきましては、焼却炉３炉運転時では、削減率が、年間ですけども、約21％台の削減効果があります。交付要件であります削減率３％以上の交付要件は達成しております。計算上ですけれども、参考値で、焼却炉２炉運転時は約18％、１炉運転時では約４％のCO_2の削減率となっております。令和４年度の運転実績で勘案しますと、年間通じてですけども、約13％のCO_2の削減となります。

当クリーンセンターは供用開始後17年を迎え、今回で機器の一部が基幹改良工事において更新ができました。ただ、それ以外の機器の劣化が激しい部分については、今後も計画的に維持管理を適正に行い、構成市から発生します一般廃棄物を安全かつ安定的に中間処理していきます。

なお、事務局の機構としまして、基幹改良工事中は担当を設けておりましたが、工事の完了に伴い基幹整備担当も廃止となります。

基幹的設備改良工事の報告の説明は以上です。

○岸田　厚議長

説明が終わりました。質問、ご意見などありましたらご発言願います。

〔「なし」の声あり〕

○岸田　厚議長

ないようですので、本件説明を終わります。

この後は議会関係の案件となりますので、理事者の方はご退席お願いいたします。

〔理事者　退席〕

○岸田　厚議長

次に、第３案件「本会議の録画配信について」の説明を受けることにいたします。青木総務課長。

○青木高志総務課長

それでは、先ほどの本会議で予算案をご承認いただきましたが、その中にあります本会議の録画配信につきましては、昨年の11月６日の議員協議会で説明させていただいた際に、２台のカメラを設置し、録画したものを後で編集してユーチューブに流すという案になったかと思います。そして初期導入費用を10万円程度に極力抑えていくということになっていたかと思います。

その後、事務局で予算編成する中で、いろいろ検討させていただいた結果、２台のカメラに配線を接続してパソコンで撮影、編集できる録画用システムの構築費用として48万７千円を予算計上さ

せていただくことになりました。このシステムのメリットとしましては、直接職員による簡易な編集が可能となりまして、編集期間の短縮ができるということや、あと、音声アンプからの直接録音によります聞き取りやすい音声での配信が可能となること。また、今後、本会議がリアルタイムで配信するというふうな場合にでも、インターネットと配線をつなぐだけですぐに設定ができる。そしてそれに関して費用もできるだけ抑えられるという点が挙げられます。また、ランニングコストに関しましても、特に編集委託が必要となるような不測の事態が起こらない限り、必要はございません。

しかし、これに対して、前回の議員協議会の案であれば、議会の開催ごとに２台のカメラの画像を上下１画面に編集して、そしてテロップの差し込み等もしてもらう必要がありまして、１回当たり７万８千円の編集費用が発生します。そしてそれが年５回の議会をするとなると、年間約39万円のランニングコストが発生することが判明しました。

このようなことを踏まえますと、前回の議員協議会の案より初期導入費用はかかりますけども、それでも一、二年でランニングコストが逆転するというようなことが見込まれますので、事務局としましては、事務局が予算計上しました方法でご了解いただければと考えております。

以上でございます。

○岸田　厚議長

説明が終わりました。質問などありましたら承ります。高比良議員。

○10番　高比良正明議員

整理をしておきたいんですけども、今も傍聴者の方は退席を命じられて出て行かれましたけど、これは議員総会じゃないですか。議員協議会と本会議と議員総会と、３種類あるんですよね。ほんで、それのそれぞれの公開についてはどのようになっているか、もう一回確認させてください。

○岸田　厚議長

上村次長。

○上村昌生事務局次長

退席されたのがどういう理由か分からないんですけども、議員総会については、傍聴できる規定になっています。本会議も傍聴できる。議員協議会、議会でいう秘密会については、退席していただくという形になります。

以上です。

○岸田　厚議長

高比良議員。

○10番　高比良正明議員

協議会についても、先般の議論では、秘密会にするようなこと自体がこれまでもなかったということで、これも原則的に公開というふうにたしか確認をしたと考えておるんですけども、どうですか。

○岸田　厚議長

上村次長。

○上村昌生事務局次長

前回確認させていただいたときに、会議の名称について、今まであった議員協議会については、今、議員がおっしゃられた秘密会を議員協議会という名前にするという扱いにしたので、今はそういう状況は、実績というか、行うことはないであろうと考えられます。

○岸田　厚議長

高比良議員。

○10番　高比良正明議員

先ほどのやつ、もう一回確認しておきたいんですが、傍聴の方というのは促されて明らかに退席されているわけですよ。今見ていましたけどもね。係の方が、そちらの事務方に、聞いていてもいいんですかということを多分お聞きになられたと思いますよ。もう一回入ってこられて、宇野議員でしたけども、宇野議員に対して出ていってくださいというようなことを多分お伝えになられたんじゃないかなと思うんですけども、もう一回そこを、傍聴者がご自身で出ていかれたのか、それとも促されて出ていかれたのかを確認させてください。

○岸田　厚議長

上村次長。

○上村昌生事務局次長

確認させていただきますので、暫時休憩していただけますでしょうか。

○岸田　厚議長

暫時休憩します。

午前11時31分休憩

午前11時31分再開

○岸田　厚議長

それでは再開いたします。

上村次長。

○上村昌生事務局次長

お答えします。

誠に申し訳ないことなんですけども、事務局のほうが対応を、本来、傍聴できるところを退席を促してしまったということを今分かりましたので、今回については、もうほんまに謝罪させていただきたいと思います。今後注意させていただきます。

○岸田　厚議長

高比良議員。

○10番　高比良正明議員

分かりました。私らじゃなくて傍聴の方に謝罪を、誰か分かっていますからね、宇野さんって。謝罪しておいていただきたいと思います。基本的には、ここでやるやつは、よっぽど特定の秘密会にしますよというようなことでない限りは全て公開するし議事録も載せるということですよね。

○岸田　厚議長

上村次長。

○上村昌生事務局次長

おっしゃるとおりでございます。

○岸田　厚議長

他に質問ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○岸田　厚議長

ないようでありますので、本件説明を終わります。

事務局から連絡等はありませんか。青木総務課長。

○青木高志総務課長

１件、ご報告させていただきます。

まず、先月の２月１日より組合の新ホームページの運用が開始されております。議会の会議録につきましては、これまで発言記録部分のみの掲載でしたけども、新ホームページには、これまで組合議員にお配りしていたのと同様の会議録が掲載されることとなったこともありまして、今後、議会の会議録につきましては、ペーパーレス化ということであったり、高比良議員が先ほど言われていたように経費節減ということもありまして、事務局からの会議録の配布につきましては取りやめさせていただきまして、皆様にはホームページへ掲載ができる時期のみを連絡させていただき、会議録につきましてはホームページでご確認いただくということでさせていただければと考えておりますので、よろしくお願いしておきます。

以上でございます。

○岸田　厚議長

今の説明、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

○岸田　厚議長

それでは、これをもちまして議員総会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

午前11時34分閉会

令和6年 第1回 岸和田市貝塚市清掃施設組合議会 議員総会 配付資料

案件１

資料①　令和５年度稼働状況（速報）

資料②　令和５年度運転計画及び実績と令和６年度運転計画

案件２

資料①　岸和田市貝塚市クリーンセンター基幹的設備改良工事概要

資料②　基幹的設備改良工事プラント全体フローシート

案件（１）資料①

令和５年度稼働状況（速報）

①「搬入量」

（２月末現在）

	単位(t)	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	２月末合計	家庭系ごみ	事業系ごみ
ごみ総搬入量	５年度	7,385.83	8,235.46	7,862.57	7,661.25	7,822.07	7,402.99	7,824.75	7,494.99	8,182.33	7,248.27	6,704.87		83,825.38	43,383.26	40,442.12
	４年度	7,817.50	8,267.61	7,913.62	7,761.74	8,080.01	7,848.06	7,800.41	7,643.35	8,577.34	7,308.62	6,716.29		85,734.55	44,652.87	41,081.68
	前年差	-431.67	-32.15	-51.05	-100.49	-257.94	-445.07	24.34	-148.36	-395.01	-60.35	-11.42		-1,909.17	-1,269.61	-639.56
	前年比%	94.48	99.61	99.35	98.71	96.81	94.33	100.31	98.06	95.39	99.17	99.83		97.77	97.16	98.44

②[焼却設備」

	単位(t)	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	２月末合計
ごみ焼却量	５年度	8,977.23	9,205.50	9,023.69	4,796.39	6,896.08	8,970.03	2,248.76	8,648.34	10,267.21	9,308.77	4,578.45		82,920.45
	４年度	9,251.29	5,045.06	6,444.98	9,996.30	9,164.25	8,992.47	2,044.84	7,509.88	9,852.74	5,811.38	8,481.55		82,594.74
	前年差	-274.06	4,160.44	2,578.71	-5,199.91	-2,268.17	-22.44	203.92	1,138.46	414.47	3,497.39	-3,903.10		325.71
	前年比%	97.04	182.47	140.01	47.98	75.25	99.75	109.97	115.16	104.21	160.18	53.98		100.39

③「発電設備」

	単位(kWh)	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	２月末合計
発電電力量	５年度	4,739,360	5,115,930	4,858,550	2,359,090	3,667,780	4,982,530	1,111,970	4,799,320	5,622,500	5,000,100	2,025,560		44,282,690
	４年度	5,121,060	2,482,360	3,301,200	5,566,320	4,891,580	4,729,030	962,050	4,102,390	5,569,600	2,787,240	4,528,380		44,041,210
	前年差	-381,700	2,633,570	1,557,350	-3,207,230	-1,223,800	253,500	149,920	696,930	52,900	2,212,860	-2,502,820		241,480
	前年比%	92.55	206.09	147.18	42.38	74.98	105.36	115.58	116.99	100.95	179.39	44.73		100.55
送電電力量	５年度	2,762,980	3,031,590	2,708,010	578,980	1,548,160	2,614,390	282,940	2,671,720	3,286,300	2,780,340	333,160		22,598,570
	４年度	2,922,960	717,310	1,350,660	2,953,700	2,413,080	2,491,330	233,320	2,491,230	3,355,200	949,230	2,576,890		22,454,910
	前年差	-159,980	2,314,280	1,357,350	-2,374,720	-864,920	123,060	49,620	180,490	-68,900	1,831,110	-2,243,730		143,660
	前年比%	94.53	422.63	200.50	19.60	64.16	104.94	121.27	107.25	97.95	292.90	12.93		100.64
消費電力量	５年度	1,976,380	2,084,340	2,150,540	1,798,900	2,130,660	2,368,720	1,337,130	2,154,920	2,336,200	2,219,760	1,752,380		22,309,930
	４年度	2,198,100	1,771,210	1,995,170	2,612,620	2,489,800	2,246,770	1,281,760	1,836,600	2,214,400	1,874,390	1,951,490		22,472,310
	前年差	-221,720	313,130	155,370	-813,720	-359,140	121,950	55,370	318,320	121,800	345,370	-199,110		-162,380
	前年比%	89.91	117.68	107.79	68.85	85.58	105.43	104.32	117.33	105.50	118.43	89.80		99.28

④「処分量」

	単位(ｔ)	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	２月末合計
埋立処分量	５年度	1,137.10	1,307.04	1,307.91	624.13	1,000.22	1,096.59	462.57	1,023.35	1,180.71	1,286.92	802.54		11,229.08
	４年度	1,040.70	813.34	884.22	1,155.84	1,317.65	1,196.90	422.00	853.71	1,324.87	836.82	1,076.07		10,922.12
	前年差	96.40	493.70	423.69	-531.71	-317.43	-100.31	40.57	169.64	-144.16	450.10	-273.53		306.96
	前年比%	109.26	160.70	147.92	54.00	75.91	91.62	109.61	119.87	89.12	153.79	74.58		102.81
処分委託 ﾘｻｲｸﾙ	５年度	0.00	133.15	74.26	38.71	57.42	83.84	56.92	77.11	70.27	27.29	112.02		730.99
	４年度	0.00	101.22	76.41	72.23	58.59	65.52	66.07	79.56	65.21	69.37	75.93		730.11
	前年差	0.00	31.93	-2.15	-33.52	-1.17	18.32	-9.15	-2.45	5.06	-42.08	36.09		0.88
	前年比%	#DIV/0!	131.55	97.19	53.59	98.00	127.96	86.15	96.92	107.76	39.34	147.53		100.12
有価物搬出量	５年度	103.56	221.78	205.36	163.05	202.58	210.24	174.98	181.92	199.44	190.76	156.66		2,010.33
	４年度	135.49	204.47	210.14	225.95	203.08	178.58	201.33	197.82	204.39	169.97	139.62		2,070.84
	前年差	-31.93	17.31	-4.78	-62.90	-0.50	31.66	-26.35	-15.90	-4.95	20.79	17.04		-60.51
	前年比%	76.43	108.47	97.73	72.16	99.75	117.73	86.91	91.96	97.58	112.23	112.20		97.08

令和５年度　運転計画及び実績

時間

焼却炉		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月(予定)	計	合計
１号炉	計画		744	720	744		720	336	720	600			744	5,328	計画 14,972
	実績		736	720	744	329	678			322	744	696	744	5,713	
２号炉	計画	720							600	744	744		672	3,480	
	実績	720	13						585	744	744	12		2,818	実績 14,584
３号炉	計画	720	744	720		744	720	240	96	744	744	692		6,164	
	実績	720	744	720	20	744	720	348	713	578		2	744	6,053	

全炉停止期間

令和６年度　運転計画

時間

焼却炉		４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	計	合計
１号炉	計画				360	744	720	264		288	744	672		3,792	計画 14,232
２号炉	計画		744	720	744				72 720	648			744	4,392	
３号炉	計画	720	744		744	744	720		216	744	744	672		6,048	

全炉停止期間

凡例　焼却炉運転　定期点検整備工事　基幹改良工事　焼却炉冷却及び清掃期間　焼却炉運転実績　焼却炉点検整備工事実績

案件（1）資料②

案件（２）　資料①

岸和田市貝塚市クリーンセンター基幹的設備改良工事概要

番号	項目	名称	工事内容
①	燃焼設備	炉出口レーザー酸素濃度計設置	レーザー酸素濃度計を設置して、燃焼用空気の過剰供給を抑制し、排ガス量を削減を行った
②		焼却炉耐火物更新	上記による炉内温度上昇に対応するため耐火物の更新を行った
③	燃焼ガス冷却設備	第3過熱器の更新	主蒸気温度の設定変更（400℃から405℃）に伴いインコネル肉盛管に更新を行った
④	排ガス処理設備	排ガス再加熱器に調節弁設置	排ガス再加熱器の入口蒸気配管に調節弁を設置して、使用蒸気量の削減を行った
⑤	灰出し設備	主灰移送コンベア系統の更新	主灰移送コンベアの更新で、高効率電動機の採用により節電を行った
⑥		飛灰コンベアの更新	飛灰コンベアの更新で、高効率電動機の採用により節電を行った
⑦		局所集じんファンの更新	溶融設備停止に伴い、局所集じんファンの能力の見直しにより節電を行った
⑧	雑設備	雑用空気圧縮機の更新	機器の更新に伴い、インバーター方式に変更と高効率電動機の採用で節電を行った
⑨	電気設備	コントロールセンターの改造	機器の容量の変更に伴いコンロールセンターを改造を行った
⑩	計装設備	中央制御システムの更新	排ガス再過熱器への蒸気流量制御や、レーザーO2計による燃焼制御機能の追加に伴い、その機能を有したDCSに更新を行った
⑪		分析計の更新	バグフィルタ出口と煙突入口の分析計を更新し節電を行った
⑫		計装用空気圧縮機の更新	機器の更新に伴い、インバーター方式に変更と高効率電動機の採用で節電を行った

タービンバイパス装置
蒸気コンデンサ
大気放出
真空ポンプ
蒸気タービン
減速装置
蒸気タービン発電機
給水加熱器
排気復水タンク
脱気器
ポンプ
高圧蒸気だめ
低圧蒸気だめ
リサイクルプラザ
余熱利用設備
上水本管より
工水本管より
復水タンク
純水タンク
純水装置
ボイラ受水槽
工水受水槽
機器冷却水冷却塔
機器冷却水高架水槽
機器冷却水薬注
機器冷却
機器冷却水受水槽
上水受水槽
雨水貯槽
雨水処理済水槽
生活用水
下水道へ
洗煙用工水高架水槽
工水高架水槽
湿式有害ガス洗浄装置
各所給水
再利用水高架水槽
排ガス減温水
灰出し設備給水
各所床洗浄水
リサイクルプラザ棟送水
植栽散水
トイレ洗浄水
各所排水
煙突
触媒脱硝装置
アンモニア
④ ＳＧＨ蒸気調節弁設置（3炉分）
ガス再加熱器
プラント系排水処理設備
余剰水
洗煙系排水処理設備
下水道放流
洗煙系曝気ブロア
プラント系曝気ブロア
⑪ 煙突入口分析計更新（3炉分）
消音器
誘引通風機
排ガス循環ファン
プラント系排水処理へ
液体キレート
苛性ソーダ
洗煙系排水処理へ
洗煙塔
ガス洗浄塔
冷却吸収部
減湿吸収部
冷却器
洗煙塔入口ダクト
⑪ ＢＦ出口分析計更新（3炉分）
バグフィルタ
バグダスト排出装置
助剤貯槽
活性炭貯槽
薬剤噴霧ブロワ
EGR用ファン
再利用水
減温塔
押込送風機
燃焼用空気予熱器
③ 第3過熱器更新（3炉分）
S/H
ECO
ボイラ
① 炉出口レーザO2計設置（3炉分）
② 耐火物更新（3炉分）
助燃バーナ
焼却炉
給じん装置
ボイラ起動バーナ
焼却飛灰搬送コンベヤ
焼却主灰出ゲート
ダスト集合コンベヤ
灰貯留装置
焼却飛灰貯留供給装置
焼却主灰コンベヤ
⑦ No.1局所集じんファン更新（2台）
⑤ No.1 焼却主灰移送コンベヤ更新（2台）
ごみクレーン操作室
ごみクレーン
粗破砕物コンベヤ（リサイクルプラザ棟より）
投入ホッパ
ごみプラットホーム
ごみピット
ごみ汚水処理設備
ごみ汚水槽
二次押込送風機
消音器
主灰クレーン
主灰積出場
主灰ピットA
主灰ピットB
No.2 焼却主灰移送コンベヤ
焼却主灰用キレート剤注入ポンプ
主灰用キレートタンク
灰沈殿槽
灰汚水槽
プラント系排水処理設備へ
飛灰固化用キレート剤タンク
飛灰固化用キレート剤注入ポンプ
飛灰固化装置
⑥ 焼却飛灰バイパスコンベヤ更新（2台）
飛灰養生コンベア
飛灰固化物クレーン
飛灰固化物積出場
飛灰固化物ピット
固化物等汚水槽
固化物等沈殿槽

記号	名称
	空気
	ガス
	ごみ
	焼却主灰
	飛灰
	固化物
	水・蒸気
	薬品
キ	キレート剤

コンプレッサ系統図
空気貯槽
排ガス処理用空気圧縮機
No.1
No.2
No.3
⑫ 計装用空気圧縮機の更新
No.1
No.2
空気貯槽
⑧ 雑用空気圧縮機の更新
No.1
No.2
空気貯槽

中央制御システム構成図
焼却棟
リサイクルプラザ棟
サーバー
操作卓
中央制御室
⑩ 中央制御システム更新
操作卓
焼却炉
共通
受変電
溶融炉
リサイクル
計算機室
⑨ コントロールセンター改造
コントロールセンター室
飛灰固化電気室

基幹的設備改良工事対象部分

TITLE
177t/24h×3炉　ごみ処理施設
基幹的設備改良工事箇所
プラント全体フローシート
岸和田市貝塚市清掃施設組合